

TOTO

台所用シングルレバー混合栓（イオン水生成器用）

TK52-1型
TK53-1型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。



⊘ は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。



⓪ は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

警告

 禁止	湯水を逆に配管しない 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。	
	給湯温度は85℃より高温で使用しない 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
 分解禁止	この説明書に記載された項目以外は、分解・改造しない 破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	



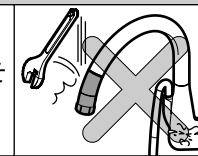
注意



禁止

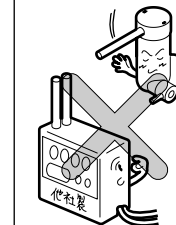
強い力や衝撃を与えない

破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



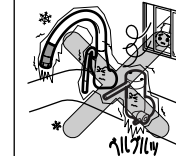
他社のイオン水生成器に取り付けしない

本商品はTOTOイオン水生成器（TEK511B2型・TEK531B1型）専用水栓です。取り付けの際は、この説明書と共にイオン水生成器の取扱説明書や施工説明書をよくお読みのうえ、取り付けてください。各説明書に記載の、種々の傷害および物的損害が発生することがあります。



凍結が予想される場所には設置しない

部品が破損し、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



2

仕様

給水・給湯圧力	最低必要水圧 (流動圧)	アルカリ7セットの場合：0.07MPa アルカリスリムセットの場合：0.1MPa
	最高水圧 (静水圧)	0.75MPa
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度		1～40℃
用途		一般住宅台所用

3

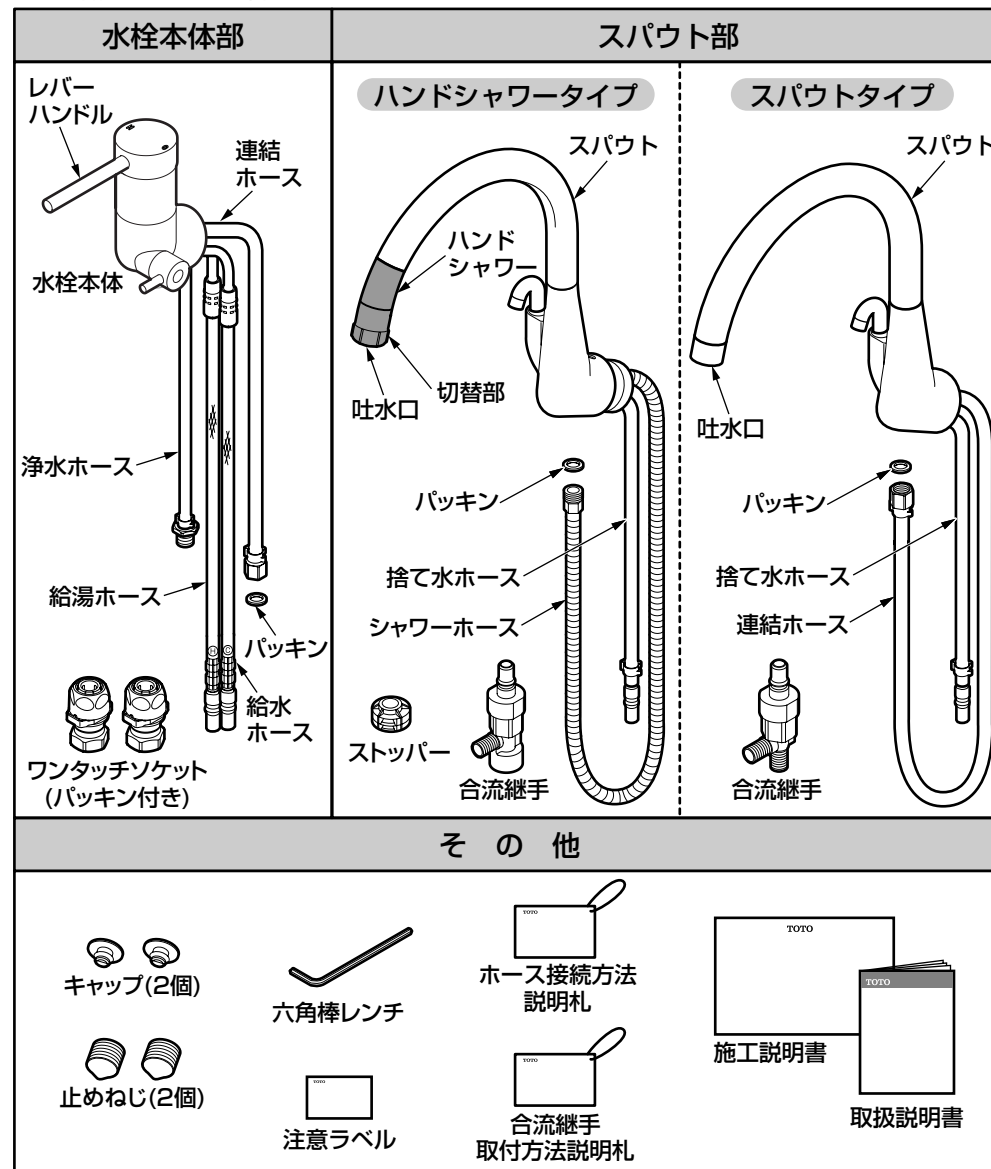
取り付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2～0.3MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2～0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、60℃給湯をおすすめします。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 水勢調節および器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。
＜止水栓推奨位置＞
 - ・高さ方向：床から480mm
 - ・水平方向：給水（水栓本体中心より右に195mm）
給湯（水栓本体中心より右に95mm）
- アルカリイオン水生成器（TEK511B2型・TEK531B1型）を接続する場合は、アルカリイオン水生成器の施工説明書を参照してください。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。

4

部品の確認

次の部品があることを確認してください。

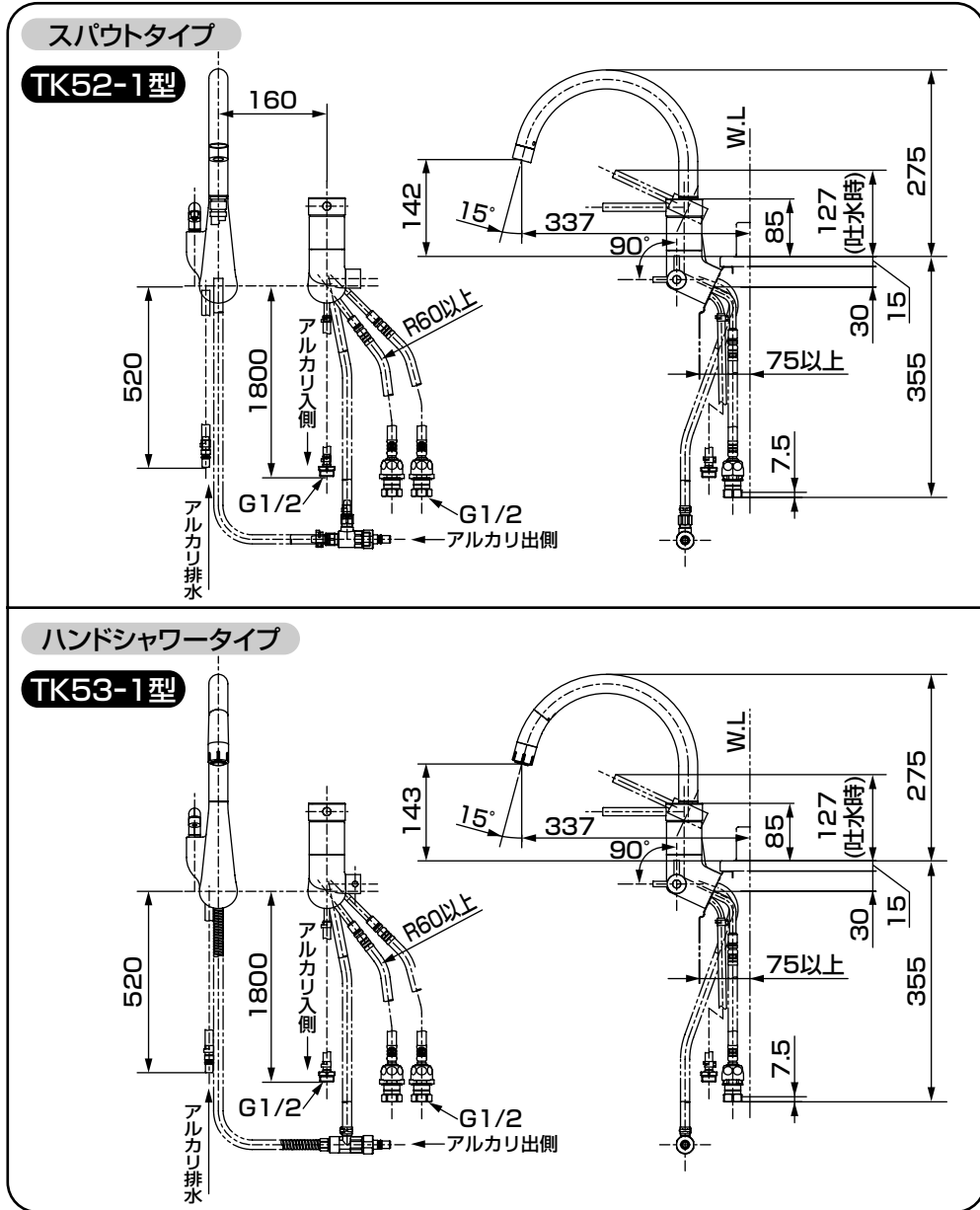


※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

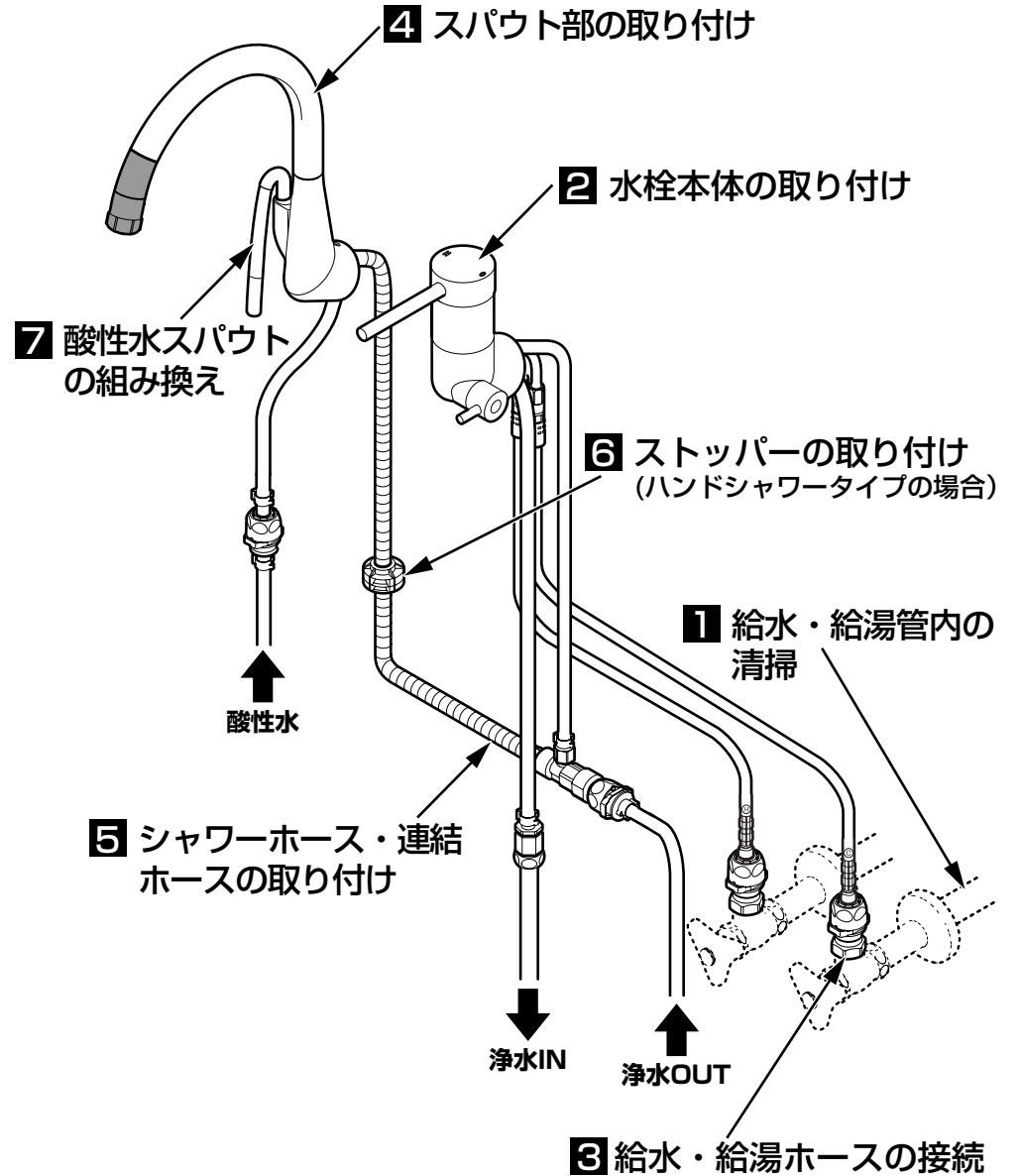
※取付金具はキャビネット側にセットしており、水栓には同梱しておりません。

5 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



6-1 施工手順



1 給水・給湯管内の清掃

取り付ける前に **必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

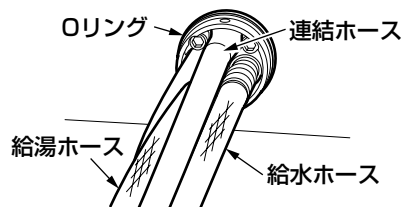
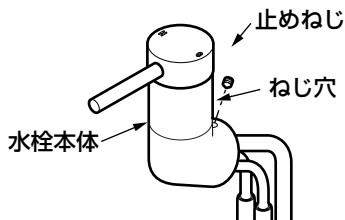
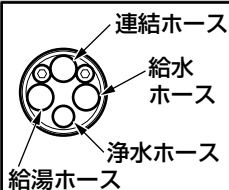
重要

2 水栓本体の取り付け

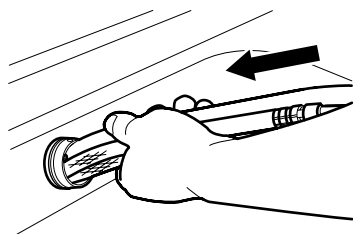
- ① 止めねじを水栓本体のねじ穴に仮ねじ込みする。ねじは、内側に出ないようにする。
- ② シンクの取付金具のOリングにごみなどがついてないことを確認する。
- ③ 給水・給湯ホースと連結ホースなどをそろえてシンクに向かって右側の取付金具に挿入する。

注意

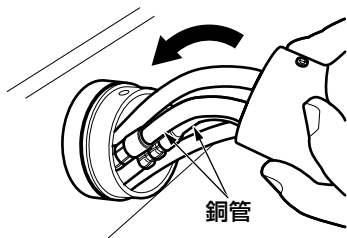
ホースは交差しないようにそろえて挿入してください。



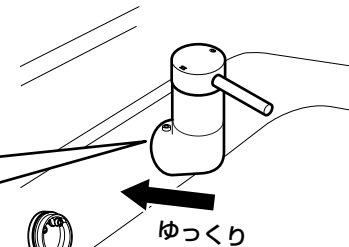
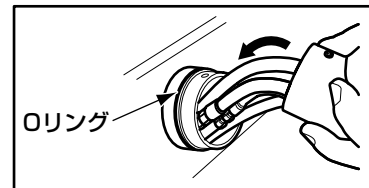
- ④ ホース先端がキャビネットに当たりますので、なるべくホース先端が下向きになるように手でホースを送り込みながら、挿入する。



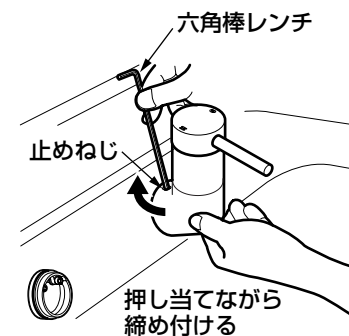
- ⑤ 給水・給湯ホースが銅管につながるところまで挿入できたら、本体をささえながら銅管の曲がりに沿うように本体を押し込む。



- ⑥ 本体が取付金具まで挿入できたら、本体の根元がシンクに接するまで取付金具にゆっくり押し込む。
※ 入りにくい場合は、取付金具のOリングに水などをつけると入りやすくなります。



- ⑦ 本体の向きを合わせて本体をシンクに押し当てたまま、六角棒レンチの長い方を使って止めねじを締め付ける。



注意

締め付け後、本体がまっすぐに取り付けられていることを確認ください。

- ⑧ 六角棒レンチの短い方を使って増締めして確実に固定する。その後、止めねじのキャップを押し込む。



注意

本体が確実に固定され、ガタがないことを確認ください。



裏面へつづく

3 給水・給湯ホースの接続

①ワンタッチソケットを止水栓に固定する。

注意

ワンタッチソケットに貼られたシールをはがさないで取り付けください。そのままでもホースを差し込めます。

②給水・給湯ホースに異物の付着がないことを確認し、ワンタッチソケットにまっすぐ奥まで(カチッと音がするまで)確実に差し込む。

確実に差し込まれていない場合、水漏れの原因となります。

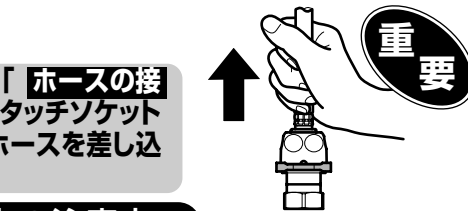
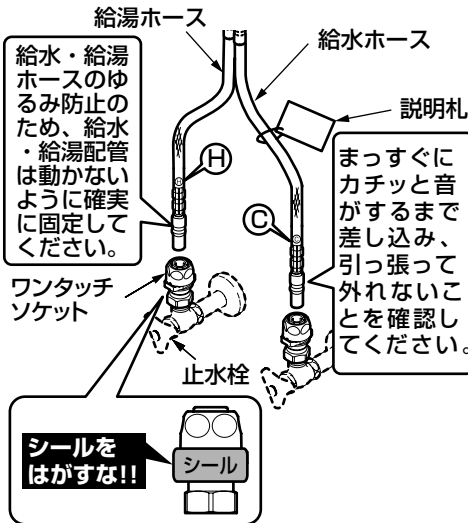
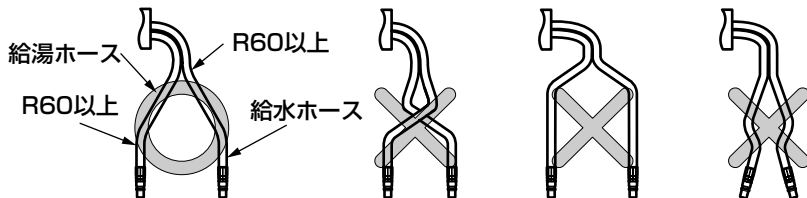
この際、同梱の「ホースの接続方法」の説明札を必ずホースに通してください。

③ホースをまっすぐ引っ張って外れない(抜けない)ことを必ず確認する。

施工後、万一給水ホースを外した場合は、「ホースの接続方法」の説明札を確認のうえ、必ずワンタッチソケットと給水ホース内の残水を抜いてから給水ホースを差し込んでください。

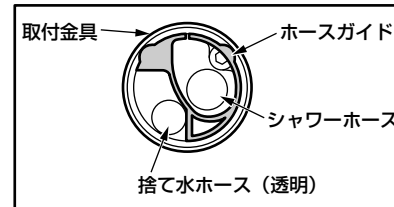
給水・給湯ホース施工上の注意点

- ホースを必要以上の力で曲げて折らないように注意してください。ホースの最小曲げ半径は60mmです。それよりも小さく曲げて使用すると、十分な流量が出ない場合や破損・水漏れのおそれがあります。
- ホースを水栓本体端面から極端に屈曲して施工しないでください。
- ホースを無理に引っ張らないでください。ホースが折れる可能性があります。
- ホース同士の不要な接触は避けてください。外部補強層の摩擦による外傷でホース性能の劣化の可能性があります。



4 スパウト部の取り付け

①本体と同様に止めねじを仮ねじ込み後、向かって左側の取付金具に挿入する。ねじは、内側に出ないようにする。シャワーホースをほぼ挿入したところでホースガイドを取付金具の形状に合わせて差し込む。



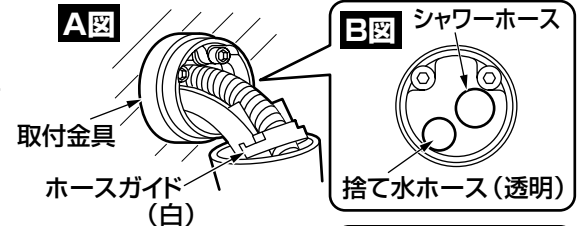
※入りにくい場合は、取付金具のOリングに水などをつけると入りやすくなります。

スパウト部取り付けの注意点

捨て水ホースが施工時に折れ曲がらないように挿入してください。折れると、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。また、イオン水生成器の故障のおそれがあります。

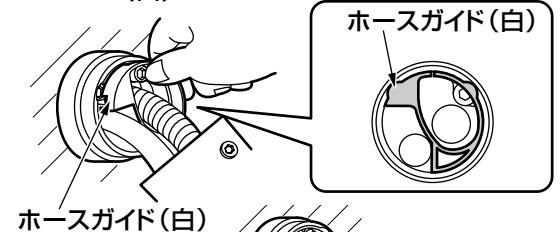
1. ホース位置の確認

2本のホースをA図の位置程度まで挿入したところで取付金具の正面から見て2本のホースがB図の位置になっているか確認・調整する。



2. ホースガイドの差込み

取付金具の形状に合わせて、ホースガイド(白)を差し込む。



3. ホースの差込み

捨て水ホース(透明)が折れ曲がらないように、慎重にホースガイド(白)に差し込む。



5 シャワーホース・連結ホースの取り付け

<ハンドシャワータイプの場合>

- ①合流継手をシャワーホース末端のねじ部へねじ込む。
- ②水栓本体からの連結ホースと合流継手を接続する。

※この際、同梱の「合流継手取付方法」の説明札を必ずホースに通してください。

- ③ワンタッチソケットを合流継手へ **まっすぐ奥まで** (カチッと音がするまで) 確実に差し込む。

<スパウトタイプの場合>

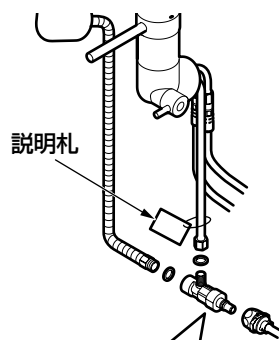
- ①スパウトからの連結ホースと合流継手を接続する。
- ②水栓本体からの連結ホースと合流継手を接続する。

※この際、同梱の「合流継手取付方法」の説明札を必ずホースに通してください。

- ③ワンタッチソケットを合流継手へ **まっすぐ奥まで** (カチッと音がするまで) 確実に差し込む。

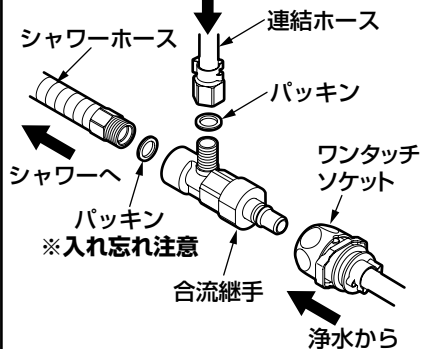
注意

- 各ホースがからまないように注意してください。
- ワンタッチソケットの取り付けは「6-3-3 給水・給湯ホースの接続」を参照し、確実に取り付けてください。



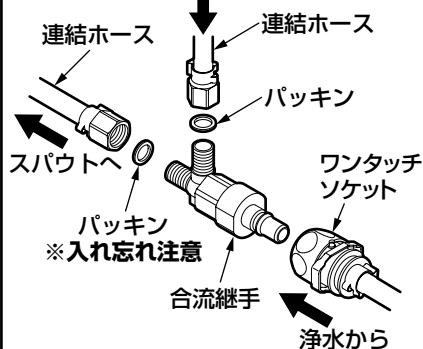
ハンドシャワータイプの場合

水栓本体より



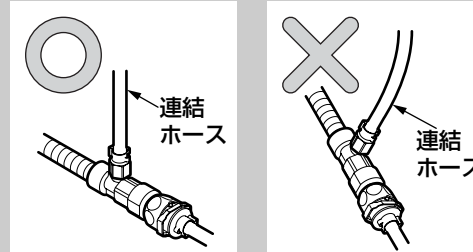
スパウトタイプの場合

水栓本体より



注意

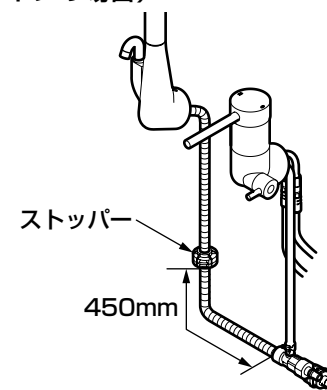
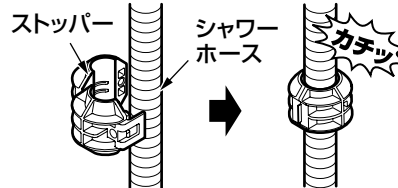
- 水栓本体からの連結ホースは真下におろすように配置してください。



6 ストッパーの取り付け (ハンドシャワータイプの場合)

右図の位置にストッパーを「カチッ」とはめ込む。

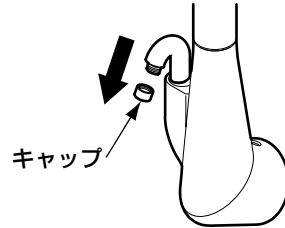
<ストッパーの取り付け方法>



6-5

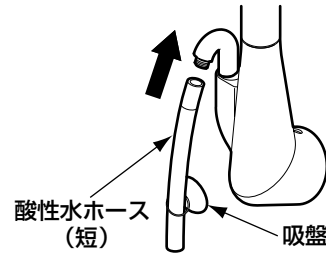
7 酸性水スパウトの組み換え

- ① 酸性水スパウト先端のキャップを手でゆるめて外す。
- ② 酸性水ホースを取り付けて吸盤でシンク内に固定する。



酸性水ホースは、イオン水生成器付属品です。
酸性水ホースは、必ず取り付けてください。
加熱洗浄中は蒸気が出ます。

ホース接続後、取扱説明書に同梱している
注意ラベルを近くの見える所に必ず貼って
ください。



8 イオン水生成器との接続

イオン水生成器に同梱の施工説明書に従い、イオン水生成器を設置する。

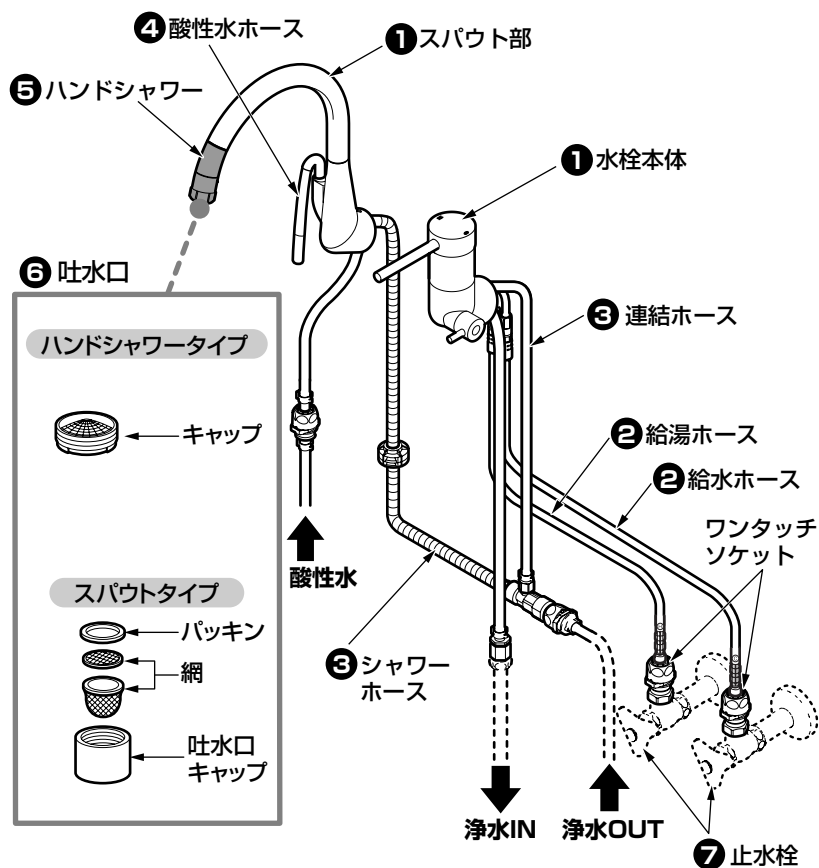
7

使用上の注意

ご使用中に以下のような現象が発生することがありますが、**故障ではありません。**
お客様へ十分にご説明ください。

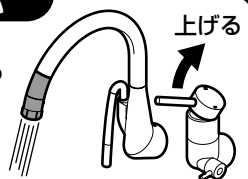
現象	説明
使いはじめに比べて、しばらく使用すると、ハンドル操作が重く感じる。	ご使用により商品内部の部品がなじみ、安定したことによるもので、故障ではありません。

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



水出し確認

配管部の元栓を開け、スパウトから水が出るか確認してください。



ガッツキの確認

ガッツキがないか確認してください。

① 水栓本体およびスパウト部の止めねじのゆるみはないですか？

↳ 6-2 - ②「水栓本体の取り付け」参照
 ↳ 6-3 - ④「スパウト部の取り付け」参照

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

② 給水・給湯ホースはワンタッチソケットにしっかり差し込まれていますか？

↳ 6-3 - ③「給水・給湯ホースの接続」参照

③ シャワーホースおよび連結ホースは確実に取り付けていますか？

↳ 6-4 - ⑤「シャワーホース・連結ホースの取り付け」参照

④ 酸性水ホースはしっかり差し込まれていますか？

↳ 6-5 - ⑦「酸性水スパウトの組み換え」参照

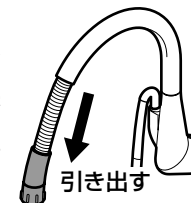
動作確認

ハンドシャワーの動作を確認してください。

⑤ ハンドシャワーはスムーズに引き出し、および収納はできますか？

↳ 6-4 - ⑥「ストッパーの取り付け」参照

シャワーホースが止水栓などに干渉していないか確認する。



流量および吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

⑥ 吐水口のごみ詰まりはないですか？

↳ 吐水口の掃除をする。



⑦ 止水栓は開いていますか？

↳ 止水栓で流量を調節する。



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

再生紙を使用しています。